

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2009 No. 14

inaokigakuen news letter



特集

シリーズ「星稜の人間教育 知・徳・体」

第1回『徳』

社会・地域への貢献から、
「人間力」を養う。

稲置学園各学校の地域貢献活動

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

星稜Information 星稜DAY開催のご案内

金沢星稜大学総合研究所だより

稲置学園創立者稲置繁男生誕100年記念事業

金沢星稜大学 こども学科
「オープンピアツア」
地域の子どもたちと
巨大パズルを制作!

第1回
『徳』

社会・地域への貢献から、「人間力」を養う。

「隣人を愛し、地域を愛し、社会に貢献できる人づくりこそが徳育・知育・体育を三位一体とする学校教育の務めである」。これは、稲置学園創立者・稲置繁男初代理事長の遺した言葉です。初代理事長の生誕百年を機に「星稜サ・エ・ラ」では本号から3回にわたって学園教育の原点を見つめ、建学以来息づいてきた「星稜の人間教育 知・徳・体」の現在を紹介します。

シリーズ第一回となる今回のテーマは「徳」。学園各学校による地域貢献活動の一例を紹介するとともに、人間的成長へと導く稲置学園の教育についてお伝えします。



金沢星稜大学・星稜女子短期大学

金沢星稜大学の地域貢献の姿勢から、 学生自身が学びとるもの。

金沢星稜大学ではゼミ活動やカリキュラムの一環として、また課外活動や学生の自発的活動も含めて、さまざまな地域貢献の取り組みが実施されています。地域活性を通じて、座学では身につけることのできない豊かな「人間力」を磨くことがその大きな目的です。今回はその一例として、数多くの取り組みに携わる人間科学部・池田幸應教授と各学科の学生に集まっていただきました。

池田幸應教授(以下池田)・・・今回は、皆さんが取り組んでいる地域貢献、社会貢献活動を通じて、皆さん自身が何を思い、学んでいるのかを中心に話を聞きたいと思います。まずは今、それぞれがどんな活動をしているのか、また参加動機について紹介してください。

岡本聡さん(以下岡本)・・・はい。僕はスポーツ学科の第1期生として入学し、現在は3年になります。スポーツ学科にはスポーツフィールド演習というカリキュラムがあり、池田ゼミの一員として穴水町の活性化のための活動に取り組んでいます。穴水は僕の出身地なので、活動には思い入れが強くなりますね。

務める野外スポーツ部(以下野スポ)に所属しています。野外スポーツという名前ですが活動内容は幅広く、学内外を問わずさまざまな社会貢献活動やボランティアに参加しています。大学生活を机上の勉強だけではないものにしたくて入部しました。



天田絵里さん(以下天田)・・・池田先生が顧問を



人間科学部 スポーツ学科3年
岡本 聡さん

経済学部 経済学科2年
天田 絵里さん

金沢星稜大学
人間科学部スポーツ学科
池田幸應教授

人間科学部 こども学科2年
耶雲陽子さん



岡本：穴水町活性化というテーマのもと、今年三月に廃校になった旧穴水町立兜小学校の校

舎活用を検討するプロジェクトに加わっています。兜小は僕の母校でもあります。外部の視点から町の活性化を提案することは大切ですが、地域には地域の思いがあり、それを無視した押しつけの貢献になってはいけないと思います。僕は外側と内側の両方の視点を持てる立場にいますので、特にそのことを強く感じています。



池田：自らの意志で参加していることはとても大切です。たとえば社会貢献活動のひとつであるボランティアの語源は、ラテン語の「Vol」。これは英語の「Will」、つまり「意志」です。自分がしたいことをし、それが誰かにとってプラスになる。これがすべての活動の原点です。私は、学生の手を引っぱるのではなく、場をつくり背中を少しだけ押してあげることが教員の役割だと考えています。では、それぞれの活動の中で、皆さんが今感じていることを教えてください。

天田：私が活動を通じて自分に変化を感じていることは、だんだん参加者側の視点から運営者側の視点を持つようになってきたことです。はじめは自分じゃなくても誰かがするだろうと思いつつ活動をしていっていましたが、活動を重ねるうちにどんどん自分の気持ちが前向きになってきました。

池田：それぞれの地域には、そこでずっと続いてきた人々の暮らしがありますね。それを感じずに本当の貢献をすることなど不可能です。その点では、今の岡本さんの立場は地域と活動をつなぐパイプ役として非常に重要だと思います。

耶雲陽子さん（以下耶雲）：私も野スポのメンバーです。将来は教員になりたいけどこども学科に入学したのですが、もつと子どもと直接関わる機会を増やしたいと思い、子どもたちの野外活動サポートにも継続的に取り組んでいる野スポに入部しました。

池田：それぞれの地域には、そこでずっと続いてきた人々の暮らしがありますね。それを感じずに本当の貢献をすることなど不可能です。その点では、今の岡本さんの立場は地域と活動をつなぐパイプ役として非常に重要だと思います。



耶雲…自分の視点が変わるといいうのは私も経験しました。最初は子どもたちと同じ目線に立って向き合おうとしていたんですが、そのうちに指導者の視点で子どもを見るようになってきました。同じ活動に参加した現役の教員の方々と接して、自然とそうなったんだと思います。私は昔からとても頑固なんです(笑)、学内外のいろいろな人と接することで自分の考えの幅は広がりました。誰かと話すと「こんな考え方もあるのか」と思うことは多いです。



池田…人生の宝物とは、出会えてよかったと思える人のことだと私は思っています。多くの人の

と関わることは、まさに「生」の勉強。特に地域貢献の取り組みでは、地域の方々はもちろん企業・団体の人たち、他大学の学生などさまざまな枠組みを越えた人的交流が行われ、そこには他者を知り自己を知る機会が満ちています。

岡本…僕は、学生時代前半の1・2年は、楽しく過ごせればいいやという気持ちがありました。3年になって地域貢献活動に取り組むからは、忙しくも充実した毎日が送れています。活動が自分にとってプラスになっている実感はありますね。



天田…まだ参加していない学生やこれから金沢星稜大学に入学する後輩には、「ぜひこの楽しさを味わって」と伝えたいです。

耶雲…飛び込んでみれば必ず新しいものが見えてきます。学内だけで学生時代を過ごすよりも、ずっと人間的に成長できると思います。

池田…金沢星稜大学の地域貢献活動の積み重ねもずいぶん長くなりましたが、最近では世の中全体にもその風潮が広がり、ますます注目度・重要度が高まっています。次世代を担う若者・学生という立場で、企業・団体を巻き込んだ大きな活動もしやすいチャンスの時期です。本学は大学全体として地域貢献に取り組もうという姿勢があり、今後もその流れは強くなっていくはず。より多くの学生に人間力を磨く機会を提供することが、大学の、また教員としての私たちの使命だと考えています。

星稜女子短期大学の学生たちも活動に参加しています。

星稜短大のボランティア部に所属しながら、金沢星稜大学の野外スポーツ部と共に活動に参加しているお二人にお話をうかがいました。



酒本いづみさん(以下**酒本**)…これまでにボランティア部として養護施設のお手伝い、また野スポの打木海岸でのクリーンビーチ活動に参加しました。私は高校時代からボランティア活動に参加していて、それを続けたいと思っていたのがきっかけでした。

日光美里さん(以下**日光**)…私は、短大に入ったら、自分を活動的にするための努力をしようと思っていたので入部しました。

酒本…私も人と接することはあまり得意な方じゃありませんでした。でも、活動では学内外のさまざまな人と向き合うこ



総合ビジネスコース1年
酒本いづみさん

とになります。はじめは抵抗があったものの、今はさほど気になりません。

日光…いろいろな人とコミュニケーションをとって、人の輪が広がっていく楽しさを感じるようになりました。



金融・会計コース1年
日光美里さん

酒本…養護施設のお手伝いは、施設からの募集に自分たちで参加の申し込みをしたんです。自発的に活動することも大切だと実感しました。

日光…私がそこで感じたのは、障害を持つ方やスタッフの方がみんな笑顔だったこと。私自身もすごく楽しくて、一生懸命に取り組むことができました。これまで、何かに集中して真剣に取り組むことってあまりなかったんです。自分にもこんな一面があるんだと思えたことはよかったです。

酒本…ボランティア活動で得るものは、将来どんな職業に就いても活かせることだと思います。短大は在学期間が短いので、今のうちにできる活動をどんどんしていきたいです。

音楽の力で、支えてくれる方々に感謝を。

吹奏楽部歳末たすけあいチャリティコンサート

星稜高等学校吹奏楽部では、毎年街頭での歳末たすけあいチャリティコンサートを開催しています。音楽の力で社会に貢献しようとしているこの取り組みについて、吹奏楽部顧問大竹宏先生と徳田美歩部長にお話をうかがいました。

吹奏楽部部长 2年
徳田美歩さん

星稜高等学校
吹奏楽部顧問
大竹 宏教諭



大竹宏教諭（以下…大竹） 星稜高校吹奏楽部では、毎年末のクリスマスの時期に街頭でのチャリティコンサートを開催しています。これは平成8年からこれまで13年間続いている取り組みです。最近の3年間は金沢駅前もてなしドームで演奏し、その間に部員たちが観客の方々から寄付金を募ります。徳田さんは昨年末が初参加でしたね。



徳田美歩さん（以下…徳田） 寒い中たくさんの通行人の方が足を止めて演奏に聴き入ってくださって、快く募金もしていただきました。後日先生から集まった寄付金の額を聞いた時、自分たちの演奏が人の役に立ったことにとっても感激しました。13年前に先生がチャリティコンサートを始めたのはどうしてなんですか？



大竹…人の役に立つことに喜びを感じる奉仕の精神を部員たちに学んでほしいと考えたからです。また何

こともそうですが、吹奏楽部も周囲のいろいろな方に支えられて活動しています。こうして恵まれた環境で毎日の活動をさせてもらっていることに感謝する気持ちを忘れる

ないではないと思いました。チャリティコンサートと普段の活動では、どんなところに違いを感じましたか？

徳田…とてもいい経験になったのは、チャリティコンサートは通りすがりの方に立ち止まってもらえるような楽しい演奏をしよう、そのためには自分たちも楽しもうと思えたことです。これはコンクールに臨むのとはまったく違う心境でした。

大竹…演奏を楽しんでもらうために、部員たちでさまざまな企画を立てていましたね。

徳田…はい。どうしたら立ち止まって聴いてもらえるか、楽しんでもらえるかをみんなで話し合いをして決め、練習を重ねました。コンサート当日、聴いてくれていたお子さんが演奏にあわせて踊りを踊ってくれたんです。それを見て、すごくうれしかったですね。



大竹…コンクールのように入賞を目指すことだけが音楽ではありません。自分たちが心から演奏を楽しむことで多くの人に幸せを届け、支えてくれる方々に恩返しができるのもまた音楽の力です。チャリティコンサートはもちろん今年も開催する予定です。たくさんの方に聴いていただけるといいですね。

徳田…吹奏楽部一同で今年もがんばりますので、ぜひ見に来てください。



星稜中学校

ペットボトルのふたで、世界の子どもの生命を救う。 1年B組のエコキャップ運動

星稜中学校1年B組では、総合学習の時間の取り組みとして、ペットボトルのふたを集めてワクチンに換え、世界の子どもたちに届ける運動に参加しています。クラスの取り組みから学校の取り組みにまで広がりがつつあるこの活動について、担任の岩下稔先生とクラスメートの代表者にお話をうかがいました。

岩下稔教諭(以下岩下)…星稜中学校1年B組では総合学習の時間での取り組みとして、ペットボトルのふたを集めてワクチンに換えるエコキャップ運動に参加しています。このテーマは、生徒たちが話し合って決めました。

平村優衣さん(以下平村)…環境やエコ、リサイクルをテーマにしようという意見がたくさん出たところで、岩下先生がエコキャップ運動を紹介してくださいました。



谷本侃輝さん(以下谷本)…身近にあるペットボトルのふたで世界の子どもたちの命が救えるのでこれにしようと思いました。

深見裕矢さん(以下深見)…みんなで決めた目標は10万個です。最初は多いと思いました。が、それが130人分のワクチンになると聞いてがんばろうと思いました。

岩下…1日あたりの目標は550個。これはクラスだけの取り組みでは達成できないと、ひとりひとつ、全部で32個の回収箱をつくり、学校中に設置しています。



谷本…回収箱はどこに置いたらたくさん集まるかもそれぞれ考えました。週に一度回収しているんですが、たくさん入っていたら「やったー！」と思います。

岩下…みんなで始めたこの活動も、今では学校や保護者の皆さんも巻き込んだ取り組みになりつつあります。この活動を始めてから、何か意識が変わったことはありませんか？

平村…これまでペットボトルのふたはそのまま捨てていましたが、これで人の生命が救えると思ったら捨てることはできなくなりました。

深見…僕は家族にもこの話をして協力してくれるようにお願いしました。



谷本…集まったふたはクラスみんなで一個ずつ洗ってシールをはがしています。僕が家から持ってくる分はちゃんと洗ってから持ってきたようと思いました。



岩下…みんなの変化は先生も気づいています。サッカー部の大会で会場のごみ箱からふたを集めていたのを見ていましたよ。他にも電気をこまめに消すようになったりゴミの分別を徹底したりするようになりました。

エコキャップの活動ももちろん大切ですが、その過程での人間的な成長も大事です。周囲の人から協力をしてもらいながら目標に向けて前進する経験は、きっと大人になって活かされると思います。

あとはぜひ、みんなで10万個の目標を達成したいですね。

平村・谷本・深見…学校にはたくさん回収箱が置いてありますので、ひとりでも多くの子どもを救うために、皆さんも協力をお願いします。

真のスポーツパーソンになってほしい。

金沢星稜大学 人間科学部スポーツ学科 田島良輝 講師

地域社会のためのスポーツのあり方を考える。
それが「スポーツマネジメント」です。

私たちの言う「スポーツを学ぶ」とは、優れたプレイヤー、あるいはコーチになることは意味合いが違います。スポーツをより俯瞰的にとらえる広い視野を備え、社会全体の中でのスポーツの位置づけを考えることができる人、またそれをより高めるためのプランを立てて実行・運営できる人を目指すことです。それがつまり「スポーツマネジメント」を学ぶということです。

プレイヤーの視点に立てば、ライバルは同じ競技のプレイヤーということになるでしょう。しかしマネジメントの視野で広く社会を見渡すなら、スポーツのライバルはアマチュアメントパークかもしれませんし、テレビなのかもしれません。社会におけるスポーツの価値を高め、それをまた社会に還元していくためには、全体の中でのスポーツのあり方を考え、支えていくマネジメントの力が不可欠です。

私が主宰しているサークル「スポーツマネジメントトラボ」は、スポーツマネジメントの実践的な体験の場として立ち上げたものです。スポーツマネジメントに関心を持つ学生が大学・短大の枠を越えて集まり、プロスポーツクラブや公共スポーツ施設の協力を得て利用調査から課題の抽出と企画の立案、先方へのプレゼンテーションまでを行います。

地域の活性化のために、スポーツには何ができるのか。学生たちにはこの実践の場でスポーツマネジメントの可能性を肌で感じてほしいと思っています。



「スポーツマネジメントトラボは学生たちがスポーツへの思いを形にできる場所」

真のスポーツパーソンは「グッド・フェロー」。
責任ある行動と周囲への敬意を備えた人間を育てたい。

以前より日本では、「スポーツマン」の意味を「スポーツが得意な人」と解釈してきました。一方イギリスでは、同じ語に『good fellow』、つまり「好人物」、「いいヤツ」という意味が与えられてきました。これはふたつの文化でスポーツに対する意識が違うことを物語っています。

しかし今、日本でもスポーツマンの意味がグッド・フェローへと近づきつつあります。スポーツやそれに携わる

人々に対して、より大きな役割を期待するように日本の社会が変化してきた証だと思っています。

スポーツをマネジメントするための考え方や能力は、スポーツ関連業界のみならず幅広い分野で必要とされるでしょう。広い視野で物事を考えられること、自ら主体的に行動でき、そこに責任を持てること。また相手を敬い、周囲の人々から協力を得られることなど、どんな分野でも必ず活かされる能力です。

私は今後の社会を支えていく学生の皆さんに、本当の意味でのスポーツマン、スポーツパーソンになってほしいと期待しています。大学のカリキュラムやサークル活動での実践的な経験を通じて、これからの社会で活躍できるグッド・フェローをたくさん育てていきたい。それが私の教員としての役割であり、希望です。





★「超えました!」 CM第3弾放映中

昨年、春よりスタートした「超えました!」のテレビCM。その第3弾が放映中です。

今回の内容は6パターン。

玉野敦朗さん(日20年度経済学部卒業)は全国でも合格率15%前後という税理士難関科目を在学中に2科目見事合格しました。

中野聡子さん(日19年度経済学部卒業)は目標だったインテリア業界に就職。



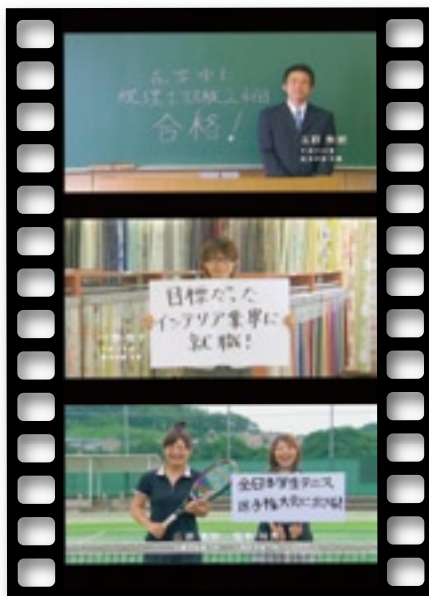
持ち前のガッツで毎日忙しい日々をこなしています。

スポーツ学科の広瀬亜耶さんと塩本瑞貴さんは硬式テニス部のペアで、北信越大会で優勝し、全日本学生テニス選手権大会に出場します。

サッカー部の大野翔平さんはプロへの登竜門ともいわれる全日本大学選抜サッカー大会に東海北信越選抜メンバーとして出場、本戦にも出場しました。

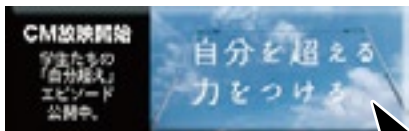
岡本聡さん・河崎健二朗さん・池上巨倫さん・瀬戸ちぐささんが所属する池田幸應ゼミは環境保全活動で金沢市より「いいね金沢環境活動賞」を受賞しました。

彼らはエコロジークャンプの運営やGOMITOMOメンバーとして活動中です。オープンキャンパス活性化プロジェクトのメンバーとして学生が企画・



運営するオープンキャンパスを実現しているのは石須優佳さん・鈴木洋平さん・山田智昭さん・北村拓也さん・釜井亮さん・中宮鳴木さん・紺野蜜子さんです。オープンキャンパス活性化プロジェクトには現在40名のスタッフがおり、今年は全部で9回のオープンキャンパスがあります。金沢星稜大学を知ってもらおうとみんな頑張っています。

今回出演していただいた皆さんの「自分を超えた理由」は、ウェブサイトで詳細を公開中です。ぜひご覧ください。



CMは金沢星稜大学ホームページでご覧になれます。

★オープンピアツツア 巨大パズルを作ろう

人間科学部(こども)学科では、学生たちが大学で学んだ知識を活かし、地域の子どもたちと積極的に触れ合うため、「オープンピアツツアプログラム」という企画を立案・実施しています。

6月27日(土)、本年度第1回目のオープンピアツツアが開催されました。プログラム名は「ホワイトクリフペンキをもつて、巨大パズルに挑もう!」。ピアツツア工房の壁面に飾るため、32ピースの巨大ジグソーパズルに「動物たちの森の音楽隊」を描き、81名の子どもたちと一緒に色を塗り完成させました。(表紙を御覧ください。)

また、完成後のサプライズ企画として、竹製の樋を使用した流しそうめんがふるまわれ、子どもたちは楽しいひと時を過ごしました。



★星稜TODAY 800号に!

平成16年4月15日に創刊され、講義のある日にあわせて職員が作成し、学生たちに手渡してきた「星稜TODAY」が、6月26日(金)配布分で800号を迎えました。これからも、大学生活に役に立つ紙面づくりを目指していきます。



★大学公式ウェブサイト リニューアル



学生たちの日々の生活、表情が伝わる金沢星稜大学公式ウェブサイトが7月1日(水)に全面リニューアルされました。新着情報やクラブサークルのページが充実。学園関連リンクへのアクセスや検索も楽になりました。

金沢星稜大学公式ウェブサイト
<http://www.seiyo-u.ac.jp>

★ CDP公務員 一次試験合格状況

学生たちの努力とスタッフの熱意により着々と成果を出しているCDP（キャリア・ダイベロップメント・プログラム）。今年で2期生となる4年次生も頑張っています。

CDP公務員受講者の二次試験合格者が8月22日現在で39名になりました。内訳は次のとおりです。

国税専門官	2名	上越市役所上級	1名
国家Ⅱ種	2名	福井市役所上級	2名
裁判所事務官Ⅱ種	1名	石川県警A	10名
自衛隊幹部候補生	1名	静岡県警A	1名
国立大学法人等職員	2名	新潟県警A	1名
東京都庁Ⅰ類B	1名	大阪府警A	1名
新潟県上級	1名	富山県警A	3名
高岡市役所上級	1名	福井県警	1名
黒部市役所上級	2名	警視庁Ⅰ類	6名

★ 地域が抱える問題について解決方策を提言！

県内自治体等が抱える問題を、県内大学等20機関のゼミナールが取り組み解決する「地域課題研究ゼミナール支援事業」（大学コンソーシアム石川主催）の公募があり、本学からは、池田幸應教授、北川節子准教授、田島良輝講師、堂下恵講師が、来年1月に成果報告を行う予定です。



ズのマッチングを図り、学生の地域貢献活動を支援し、学生・地域間の交流を促進し、地域の活性化を図る「地域貢献型学生プロジェクト推進事業」（大学コンソーシアム石川主催）にも、池田教授、澤信俊教授のゼミナールが採択されました。

★ 全国大会での活躍に期待！

空手道部・林成さん、剣道部・豊島菜摘さん、硬式テニス部・広瀬重耶さん、塩本瑞貴さん、準硬式野球同好会代表者に対し、全国大会での活躍に期待して、稲友会（保護者会）から激励金が授与されました。

空手道部は別の全国大会にも、林さん、岡田啓さん、花岡悠さん、辰巳明日香さんが出場することになりました。

また、サッカー部が第41回読売新聞社杯石川学生サッカーリーグに2年ぶりに優勝、硬式野球部も第18回金沢市長杯争奪石川県大学野球定期戦に優勝するなど、クラブ活動も確実に成果をあげており、これからが楽しみです。



★ 4年次生最後の学内合同企業説明会を開催

7月12日（日）に4年次生対象の学内合同企業説明会を開催しました。今年は就職環境の悪化をうけて、この時期にしては初めての説明会になりました。三谷産業株式会社・日本通運株式会社など25社の企業にご参加いただき、約100名の4年次生が出席しました。出席者はそれぞれにメモをとりながら真剣な表情で説明を聞いていました。

7月23日現在の就職内定率は75%です。最後まであきらめずに、内定につながるよう頑張ってください。



★ 短セミナー・コミュニティ

平成18年度より、学生が地域に向き、体験学習を通じて人生観や社会性を育てる「セミナー・コミュニティ（セミコミ）」プログラムを実施しています。今回は青木真知子教授と辻健准教授のセミコミを紹介します。

□「書」のトレーニング （担当・青木教授）



書道家の清水杏遥先生を講師に迎え、芳名録の署名や、慶弔袋の表書き、のし袋の表書きなど、日常生活における毛筆書きの基礎を学びました。また、北陸の地域文化への理解を深めるために、高岡市で高岡銅器を製作されている能作克治氏を講師として、高岡銅器について説明を受けた後、参加した学生19名がそれぞれオリジナルの文鎮制作を体験しました。



□能楽体験と和菓子文化の体験学習 （担当・辻准教授）

狂言「蟹山伏」と能「小鍛冶」の内容をあらかじめ勉強したあと、参加した学生10名が石川県立能楽堂で観賞しました。また、石川県観光物産館では実際に和菓子作りを体験し、学生たちにとって大変貴重な経験となりました。



短 平成21年度 体育祭開催!

6月12日(金)、平成21年度体育祭を稲置学園総合運動場で開催しました。
1・2年の合同チームによる対抗戦で6種目を行い、1年A組と青木真知子ゼミ(2年)&中島恵ゼミ(2年)のチームが優勝しました。



種 目

- ①満水リレー
- ②玉入れ
- ③綱引き
- ④障害物リレー
- ⑤借り物競争
- ⑥チーム対抗リレー

短 第42回 北陸三県 私立短期大学体育大会

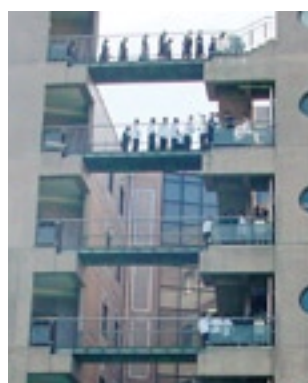
第42回北陸三県私立短期大学体育大会(主管:仁愛女子短期大学)は、6月13日(土)・14日(日)の2日間にわたり福井県あわら市と坂井市で開催され、本学からバレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、ソフトテニスの5競技に37名の選手が出場しました。



昨年度決勝戦で大接戦の末、涙を飲んだバレーボール競技では、予選Bリーグを1位で通過しての決勝トーナメント初戦(準決勝)で予選Aリーグ2位通過の仁愛女子短期大学を2-0で下して決勝に進出。前年度の雪辱を！と金沢学院短期大学と対戦しましたが、0-2で惜しくも敗れ、2年連続の準優勝となりました。
バスケットボール競技では、1回戦で仁愛女子短期大学を62-51で下して準決勝に進出、準決勝で北陸学院短期大学に敗れましたが、3位決定戦で富山短期大学を52-42で下し、見事3位入賞を果たしました。

中高 火災避難訓練

5月29日(金)、星稜中学校・星稜高校の全生徒・教職員、約1800名が参加して、火災避難訓練を行いました。校舎からの避難に、約6分という短時間で行動することができました。



中 写生大会

6月6日(土)、学校周辺を会場にして写生大会が行われました。各自それぞれの場所において、仲間となごやかに写生していました。



中 合唱コンクール 「歌に夢をのせて」

7月14日(火)、稲置講堂で合唱コンクールが行われました。今年のテーマは「歌に夢をのせて」で、各クラス、音楽の時間以外に朝の時間などを利用して、最優秀賞を目指してクラス一丸となって、一生懸命練習した成果を出していました。

どのクラスもまとまっていて、素晴らしいハーモニーが会場いっぱい広がっていました。結果は、次のとおりとなりました。

- ☆☆☆ 最優秀賞 ☆☆☆
3・A
☆☆ 優秀賞 ☆☆
3・B
☆ 敢闘賞 ☆
2・B
☆ ファンタスティック賞 ☆
1・B
☆ ユーモア賞 ☆
2・A
☆ ドリーム賞 ☆
1・A

高 講演会 「大学受験における 高校1年次の重要性」

6月26日(金)1年Bコースストップクラスの生徒を対象に、ベネッセコーポレーション山本武志氏をお招きし、進学講演会を開催しました。高校1年の今の時期に学習スタイルを定着させることの重要性についてお話しいただきました。生徒は、将来の進路を考えながら、真剣な表情で講師の話に聞き入っていました。

高 校内で3年生を 対象にした大学説明会

3年生を対象とした大学説明会が、校内で開催されました。生徒達は、各大学の担当者の説明を真剣に聞いて、これからの進路について考えていました。

- 6月30日(火) 金沢大学入試説明会
- 7月3日(金) 富山大学入学説明会
- 7月4日(土) 難関10大学説明会

※河合塾による説明



★ 高 模擬講義を実施

7月13日(月)、2年生を対象として、総合学習の一環で、実際の大学の講義を通して将来の進路を考えることを目的に、模擬講義が実施されました。金沢星稜大学をはじめ、立命館大学、専修大学、岐阜大学、金沢医科大学、金沢学院大学、北陸大学、北陸学院大学、金沢工業大学、石川県立大学から講師をお招きし、20講座を開設しました。生徒は、各自自分の興味のある講座を受講しました。



★ 高 高校1年進路講演会

7月13日(月)、1年生を対象に総合的な学習の時間の一環として、大学における研究活動や修学環境を知り、進学に対する意欲や関心を高めることを目的に大学見学会を実施しました。クラスごとに分かれ、それぞれの大学

学の説明や施設見学、講義の体験をしたり、昼食を学生食堂で食べたりと大学生活の一部を体験しました。

なお、今回見学させていただいた大学は、富山大学、石川県立大学、石川県立看護大学、金沢工業大学、金沢学院大学、金沢医科大学、金城大学、北陸大学、北陸学院大学です。

★ 高 体育大会

7月14日(火)・15日(水)、体育大会が行われました。バレーボール、バスケットボール、ドッジボール、サッカー、フットサル、バドミントン、卓球の各競技で熱戦が繰り広げられました。クラス対抗で行われ、各クラスのチームワークも抜群でした。



★ 高 ボランティア清掃

7月14日(火)午後、校長・副校長と有志の生徒・教職員がボランティア清掃を行いました。学校の敷地と通学路のゴミ拾いや清掃、草むしりなどを行いました。とても暑い日でしたが、一生懸命取り組みました。



★ 高 世界ユース陸上競技選手権大会出場

7月10日(金)、世界ユース陸上競技選手権大会が行われ、日本代表選手として、本校陸上競技部・仁和光一君(2年Pコース)が10000m競歩に出場しました。世界の強豪を相手にベストを尽くしました。結果は12位でした。



★ 高 全国大会出場激励会

7月18日(土)、全国大会に出場する運動部、文化部の激励会を第一体育館で行いました。各部活動ごとに入場し、代表者が抱負を述べました。その後、校長、同窓会、生徒会長の激励のことば、全校生徒での応援を行いました。最後に出場生徒を代表して、ソフトボール部主将の片岡瑞貴君がお礼のことばを述べました。

なお、全国総合体育大会には、陸上競技部(男女)、剣道部(男女)、サッカー部、ソフトボール部(男子)、テニス部(女子)が出場します。また、トランポリン部(男女)が、全国高等学校トランポリン競技選手権大会に、文化部では、囲碁部(女子)と小倉百人一首かるた部が全国大会に出場します。



お礼のことばを述べるソフトボール部片岡さん



写真・北川潔撮影(イタリアのブレッサノーネにて)

中高 クラブ団体優勝成績

金沢市中学校春季サッカー大会

- 1部・優勝
- 2部・優勝

金沢市中学校春季野球大会

- 1部・優勝

平成21年度加賀地区中学校
サッカー大会兼県予選会

- 優勝

平成21年度石川県中学校陸上競技大会

- 学校対抗女子の部・優勝

石川県中学体育大会

- 第61回陸上競技大会
- 女子・優勝

第33回高校囲碁選手権大会

- 女子団体
- (法島悠、坂下茉佑、白田美智)・優勝

平成21年度石川県高等学校総合体育大会

- 第62回石川県高等学校
陸上競技対校選手権大会
- 男子総合・優勝
- 男子トラック・優勝
- 男子フィールド・準優勝
- 女子総合・準優勝
- 女子トラック・準優勝

第17回石川県高等学校学校対抗かるた大会

- II部(村本、荒木)・優勝

平成21年度石川県高等学校総合体育大会

- 剣道競技
- 男子団体・優勝
- 女子団体・優勝

□ ソフトボール競技

- 男子・優勝

□ トランポリン競技

- 男子Aクラス団体
(石井、田崎、中村、岡田)・優勝
- 女子Aクラス団体
(板井、北崎、伊牟田、本横山)・優勝
- 男子総合・優勝
- 女子総合・優勝

□ テニス競技

- 女子団体・優勝

□ サッカー競技

- 優勝

平成21年度北信越高等学校体育大会

- 第48回北信越高等学校陸上競技大会
- 男子総合・優勝

□ 第19回北信越高等学校

- 男子ソフトボール選手権大会
- 優勝

□ 第45回北信越高等学校

- サッカー選手権大会
- 優勝

JFAプリンスリーグU18北信越2009

- 優勝

第34回全国高等学校

トランポリン競技選手権埼玉大会

- 団体競技男子
(石井、田崎、中村、岡田)・優勝
- 団体競技女子
(板井、北崎、伊牟田、本横山)・優勝

第76回NHK全国学校音楽コンクール

- 銀賞

第29回石川県高等学校総合文化祭

- 第61回石川県高校演劇合同発表会
- 最優秀賞・生徒講評委員会賞



幼稚園
★友達と
一緒にいいね★
入園して早4ヶ月。年少組の子ども
たちの今は？



★子どもたちの
お気に入りの場所★
階段下はとっても涼しくて、子どもたち
ちにとってホッとできるお気に入りの場
所。ある日、その場所にベンチを1つ置
くことに…さて、誰がやってくるかな？



★子どもたちの笑顔と
感性に触れてみませんか★
園児のお父さん、お母さん、おじいちゃん、
おばあちゃんに子どもたちの大好き
があふれている幼稚園を、子どもたちと
一緒に体験していただく保育参加企画が
スタートしました。

★ハーブの香りって？★
年長組の子どもたちは、チエリーセー
ジやラベンダー、ローズマリーなどの
ハーブを育てています。部屋に飾ってみ
て楽しんだり、香りを楽しんだり、ま
たアップルミントやパイナップルミント
の葉を摘んで、先日ミントティーにして
飲んでみました。



園児玄関前にあるのは、組立式のプール。入っているのは年少さん。水深は30cm。みんなではしゃぎや気持ちよさそう！暑い夏も元氣一杯乗り切って、秋にはますますたくましくなっていますね。



☆にこにこ参観☆

今年度から、毎月2のつく日(2日、12日、22日)を『にこにこ参観』としました。ネーミングの由来は日付の2と、にこの『に』からきています。

お家の方に3回に分散して来て頂くことで、これまで参観日の度に、保育室が子どもと大人で満員だったのが、ある程度ゆとりをもって普段通りの様子を見て頂けるようになりました。ぜひ2のつく日に足を運んでみて下さいね。



☆オープンハウス☆

未就園児のお子様とお家の方を対象に、5月～9月まで幼稚園で『オープンハウス』をしています。

ちなみに、この日のテーマは、”小麦粉粘土であそんじゃおう!!”でした。小麦粉、水、塩、サラダ油で作る小麦粉粘土は、とてもやわらかくていい気持ち。園長先生も輪に入りこねこね…。どんな芸術作品ができたかはご想像におまかせします！
9月は16日(水)、17日(木)、18日(金)の3日間を予定しています。



☆ナス☆

6月から、年長さんがプランターでナスとミニトマトを育てています。毎週水曜日に金沢星稜大学から来ているお兄さんお姉さん達も苗植えを手伝ってくれました。



☆石川サンバ☆

「早く大きくなあれ」毎日水やりをしながら、収穫の日を楽しみにしていたところ、7月にたくさん立派なナスがとれました!!
浅漬けの素で即席のナスのお漬物を作り、お弁当箱に少しずつ入れてもらって、お弁当と一緒に食べました。「おいしい!!」あれ、こんな味なの?いろいろな感想が飛び交う中、試食させてもらった職員室では大好評でしたよ。(笑)

「ほくやぞいね 石川サンバ」皆様も一度は耳にしたことのあるこのメロディー。なんと一あの石川さんが、幼稚園に来てくれました！早速、年長さんと一緒に『石川サンバ』を踊り、同時にテレビ収録がありました。最後はみんなで記念撮影。この後、石川さんが子どもたちにもみくちやにされたのは、言うまでもありません…。(笑)

この様子は、9月18日(金)午前10:00～石川テレビ「石川さん情報 Liveリフレッシュ」内(10:50頃)と10月4日(日)午後12:55～13:00石川テレビ「みんなで踊ろう石川サンバ」でオンエアされます。お楽しみに!!



星 稜 INFORMATION

星稜DAY開催のご案内

金沢星稜大学の現在を皆様に知っていただくことを目的として、下記の開催要領にて「星稜DAY」を実施いたします。ぜひお気軽にご参加ください。

■開催日：平成21年9月27日(日)

■会場：金沢星稜大学

〈オープニング 10:00～10:30〉

●「金沢星稜大学の『現在』を知る」

金沢星稜大学の現況および教育への取り組みと実績についてご紹介いたします。

●ごあいさつ(学長・同窓会長)

●「地域で人間力を学ぶ～金沢星稜大学生の取り組み」DVD放映

〈星稜ワンカル特別講座 10:40～12:00〉

〈橋本ひろし氏 講演会〉「異端の再生請負人が語る地域を元気にするビジネス論」(仮題)

※当日の様子は、FM石川「橋本ひろしの日本元氣劇場」(毎週日曜00:30～)公開録音を予定しています。

星稜ワンカル講座とは…

「星稜ワンカル講座」とは、500円のワンコインで誰もが受講可能な「星稜ワンコインカルチャー講座」の愛称です。より楽しく、よりためになる情報の発信をと、平成18年5月からスタートしました。今回は、特別講座となりますので、受講料は無料です。

(学校法人稲置学園星稜エクステンションセンター主催)

このほかにも、学生と同窓生との交流会や、オープンキャンパスなどを同時開催しております。



橋本 ひろし氏

プロフィール

1952年長崎県生まれ。プリント基板製造大手のキョウデンをはじめ、パソコンメーカーSOTEC、コンビニエンスストアSHOP99など破綻寸前の企業を次々買収し再生させる。

特に長崎屋の再生は、当初の計画予定を12年繰り上げ、

4年で会社更生手続きを終結させた。(その後、全株式をドン・キホーテに売却)。また大江戸温泉物語にも資本参加し、石川県では山代温泉山下屋、片山津温泉ながやまをリニューアル。今年7月には加賀市「加賀百万石時代村」(2006年閉鎖)の跡地を買収して「日本元氣劇場」として再生させた。「企業再生の鬼」「経済界の荒法師」など数多くの異名を持つ。また50歳から歌手として音楽活動も開始し、2009年7月15日にメジャーデビューを果たした。

詳細 <http://www.keiei-ichiba.com/430.html> (経営市場「百家制論」)

平成21年度の研究テーマが
決定しました！

本年度の研究テーマが以下のとおり決定しました。

部 門	年 度	研究代表者	事業名・テーマ
経済経営	2008—2009	鍋田 光男(教授)	地域企業政行との人的ネットワークの構築
経済経営	2009—2010	木村 正信(准教授)	日本の地方自治体における 外資誘致に関する研究
経済経営	2009—2010	方 斌(准教授)	石川県企業の海外進出及び 海外企業の石川県進出について
人間科学	2009—2010	大森 重宜(教授)	子どもの体力・運動能力および姿勢制御に 関する評価とその向上に関する取り組み
人間科学	2009	田島 良輝(講師)	地域プロスポーツクラブの 観戦行動モデル構築に関する調査研究
人間科学	2009	井上 明浩(講師)	地域スポーツへの障害者参加に関する研究
情 報	2008—2009	宮崎 正史(教授)	石川県内の観光情報を 全国に配信するための視聴覚作品開発
教育実践	2009—2010	岡部 昌樹(教授)	現職教員・教育委員会との連携による、 今日的教育課題のカリキュラム開発
教育実践	2009—2010	福原 昌恵(教授)	【幼・大連携】ピアツツアの有効活用に 関する実践的な研究
教育実践	2009—2010	村井万寿夫(教授)	【高・大連携】 入学前プログラムの開発と試行運用
教育実践	2009—2010	佐藤 有良(准教授)	【短大・大学連携】遠隔授業システムの 有効活用に関する実践的な研究
地域協働	2009	原 耕平(教授)	地域のデザインと農業の経営革新
研究所特別	2009—2010	吉川 顕磨(教授)	地域実態調査：現地調査(ヒアリング)を 基盤に据えた大学の知の創造
研究所特別	2009—2010	原 耕平(教授)	学校法人実態調査：北陸の学校法人の 特質に関する調査研究
研究所特別	2009—2010	中本 義徳(教授)	キャリア教育の推進に関する実証的な研究



従来、総合研究所では「経済経営研究部門」「人間科学研究部門」「情報研究部門」「教育実践研究部門」「地域協働センター」の5部門を中心に研究活動を進めてきましたが、本年度はその5部門(12プロジェクト)のほかに、研究所特別プロジェクトを3つ設定し、15プロジェクトが2009年あるいは2010年にかけて活動します。
各プロジェクトともスタートしたばかりです。研究成果はもちろんですが、今後は、日常の研究している姿、研究経過などを紹介していく予定です。

稲置学園創立者稲置繁男生誕100年記念事業

生誕100年記念式典・パーティー 盛大に開催される

学園創立者稲置繁男初代理事長の生誕100年を記念し、6月20日(土)、稲置講堂において記念式典が開催されました。学生、生徒、教職員のほか同窓生や元教職員、町会関係者等約1200名が出席し、学園のあゆみとともに初代理事長が残した業績を振り返り、一体となって学園を継続発展させる決意を新たにしました。

式典では、学生、生徒に募集した「建学の精神」に関する作文・感想文・小論文優秀者の表彰も行われました。また同日午後6時よりホテル金沢にて記念パーティーが開催され409名が出席しました。山下理事や同窓生から初代理事長の思い出話も披露されました。

7月25日(土)・26日(日)には初代理事長生誕の地奈良県の月ヶ瀬に、理事長はじめ理事、教職員、同窓生、保護者会会長の18名が訪問し、地元の方との交流会も行われました。

「作文・感想文・小論文」入賞者

【稲置賞(最優秀賞)】池田光児(高校3年)
【特別賞】田中裕二(高校2年)
【優秀賞】西川香奈子(大学2年)、中川麻稀(短大1年)、河二 尊(高校2年)、高橋優介(中学2年)
【佳作】朝倉裕樹(大学3年)、上口麻都(大学3年)、吉崎美里(大学3年)、梅林春佳(大学1年)、熊谷正章(大学1年)、立脇友梨(大学1年)、西原枝美(大学1年)、林美悠美(短大2年)、松尾友樹(高校3年)、杉森由依(中学3年)、斉田育気(中学3年)、長野由依(中学3年)、島名晃平(中学2年) 計19名



式典で挨拶する谷村昭と雄実行委員長



パーティーで挨拶する稲置美称子理事長



パーティーで学園歌を歌う参加者



初代理事長生誕の地・月ヶ瀬を訪問

「社会に役立つとは」

星稜高等学校3年 池田 光児



私にとって社会に役立つとは、未来を育てる人になることです。未来を育てる人とは、医者や、小中高の教員や、管理栄養士、又は、学者といった、新しい技術を広める人などのように、人の将来や地球の将来を育む人になるということだと私は考えています。

なぜ、未来を育てる人になることが、社会に役立つかという点、自分ひとりでは社会に役立てることに限界があっても、何人もの人を護り育てることで、社会に役立つ要員を増やし、自分一人の力の限界を超えることができると考えるからです。私がこのような考えを持つきっかけになったのは、橋口隆志さんが書かれた「最上の命医」という作品を読んだからです。どのような内容かというと、主人公が生後わずか5歳の頃に心臓手術を受け、その後その先生が言った「小児外科医は子供達の命を救うだけではなく、その子が未来に出会う仲間や子孫たち……すなわち無限の樹形図を救っている」という言葉を胸に小児外科医の道を進むといったものです。私は、その先生の言葉の「二人の先々に関わる大きな樹形図」という考えに心打たれました。樹形図、それは一人の人生を一本の木の成長と考えると、木の枝はその先の人の成長と関係を整ぐもので、それが枝分かれし段々と大きく成長する様子を表したものです。また、この樹形図は社会の構成の元となるもので、その先にあるものは、

社会に役立つ要員であると思ったからです。そして、この話を読んで、私は教員になりたいと思いました。

なぜ、医者ではなくて、教員になりたいと思ったかというと、星稜高校のある先生が言われた、「皆一人一人が幸せになればいい社会になると思う。だから、僕は、家族が幸せに生きられるようにがんばるんだ。」という言葉に、私の心は温かくなり、このような人になりたいと思ったからです。また、私の十七年という短い人生の中で、この星稜高校での高校生活というものが大きく影響しているからだと思います。それは、良い友人や、有能で頼れる先生方に出会い、それがこれからの私の樹形図の成長をよりよいものにしてくれると感じているからです。だから、私は、星稜高校や、今まで出会った、とても素晴らしい先生方のように、生徒達にいい環境を与えて樹形図の未来を育てる手伝いのできる教員になりたいのです。

そういう意味で、私にとって社会に役立つとは、未来を育てる人になることなのです。そのために、私は今、良い環境の整った星稜高校で信頼できる先生方の下、勉強や、様々な体験を通して成長しようと努力しています。

それは、大学に行き教員になるための資格を取得し、将来私が尊敬している先生方と同じステージに立ち、樹形図の未来を育て、社会に役立つ人を育てることにつながるからです。また、星稜高校で経験したこと、そして、これから経験することとをひとつひとつ大切にしていこうと、自分が、社会に役立つ人間になるための、立派な教員になるための、大切な時間を過ごすことができます。そして、それは、私が新たに二歩踏み出すための力となることを確信しています。

稲置賞(最優秀賞)受賞作品

行事スケジュール (8月～11月)

金沢星稜大学

8	6日(木)～9月24日(木)	夏季休業
	29日(土)	稲友会富山地区懇談会(於・富山市)
	30日(日)	〃 福井地区 〃 (於・福井市)
	31日(月)～9月2日(水)	追再試験
9	5日(土)	稲友会新潟地区懇談会(於・新潟市)
	6日(日)	稲友会新潟地区懇談会(於・上越市)
	8日(火)	前期卒業認定発表
	19日(土)	前期学位記授与式・後期入学式
	23日(水)・24日(木)	人間科学部・3年プレゼミ研修
	25日(金)	後期授業開始
	27日(日)	石川地区保護者懇談会、星稜DAY、オープンキャンパス
10	4日(日)	日経テスト
	5日(月)	創立記念日(講義あり)
	23日(金)～25日(日)	流星祭
	26日(月)	全学休校(創立記念日振替)
	28日(水)	月曜代替日
11	14日(土)	推薦入学試験

星稜女子短期大学

9	12日(土)	保護者懇談会
	24日(木)	後期オリエンテーション
	25日(金)	後期授業開始
	26日(土)	第4回オープンキャンパス
10	17日(土)	第5回オープンキャンパス
	23日(金)～25日(日)	星短祭
11	7日(土)	一般推薦入試
	8日(日)	自己推薦入試A日程、スカラシップ推薦入試
	14日(土)	第6回オープンキャンパス

星稜高等学校

9	1日(火)	始業式
	3日(木)・4日(金)	星稜祭
	8日(火)・9日(水)	入試説明会
	17日(木)～20日(日)	石川県高等学校新人体育大会(前期)
	26日(土)～10月6日(火)	国民体育大会(新潟県)
10	29日(火)	運動会
	13日(火)～16日(金)	中間試験
11	12日(木)～15日(日)	石川県高等学校新人体育大会(後期)
	24日(火)～28日(土)	期末試験(1年)
	30日(月)～12月4日(金)	期末試験(2・3年)
	30日(月)	修学旅行説明会(1年)

あとがき

日本の気象状況がおかしくなっているなと感じます。昨年、半世紀ぶりに浅野川が氾濫し被害を受けた夏。あまり大雪が降ることも無くなった冬。今年の梅雨もジメジメして鬱陶しい上にゲリラ雨に見舞われることもしばしば…。
時を重ねるにつれ、世の中も天候も人の心も変わっていくものなのでしょうが、稲置繁男初代理事長が築き上げ80年を迎えようとしている稲置学園は、教育内容は日々充実させながら、人間を育てるという立場や責任は不変のものであると認識し、地域に一層根ざしていきたいと思います。

大学教務課 高村久司

星稜中学校

9	18日(金)	新人大会激励会
	19日(土)～22日(火・祝)	金沢市新人大会
	30日(水)	運動会
10	10日(土)～12日(月・祝)	県新人大会
	15日(木)・16日(金)	中間試験
	28日(水)～30日(金)	修学旅行(2年)
	30日(金)	体験学習(1・3年)
11	21日(土)	総合学習発表会

星稜泉野幼稚園

9	1日(火)	始業式
	2日(水)	にこにこ参観
	11日(金)	にこにこ参観
	16日(水)～18日(金)	オープンハウス
10	1日(木)	願書受付開始、いもほり遠足
	2日(金)	にこにこ参観
	8日(木)	遠足(年少)
	9日(金)	遠足(年中)
	13日(火)	にこにこ参観、キッズサッカー
	21日(水)	キッズサッカー
	23日(金)	にこにこ参観、キッズサッカー
11	29日(木)	観劇「とんと劇団」
	2日(月)	にこにこ参観
	12日(木)	にこにこ参観

星稜幼稚園

9	1日(火)	始業式
	7日(月)	オープンハウス
	15日(火)	保育参加
	26日(土)	運動会
10	30日(水)	保育参加
	1日(木)	願書受付開始
	6日(火)	遠足(年中)
	7日(水)	いもほり、保育参加
	8日(木)	キッズサッカー、星稜子育て教室(金沢市夢ステーション事業)
	9日(金)	遠足(年少)
	13日(火)	遠足(年長)
	15日(木)	キッズサッカー
	17日(土)	エコキッズ、星稜子育て教室
	19日(月)	キッズサッカー、保育参加
11	22日(木)	星稜子育て教室
	27日(火)	とんと劇場
	5日(木)	星稜子育て教室
	9日(月)	星稜子育て教室
	10日(火)	シルエット劇(年長)、保育参加
	16日(月)	観劇(年中)
	26日(木)	表現遊びの会、星稜子育て教室
	27日(金)	表現遊びの会、星稜子育て教室



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
TEL076-253-3924(代表)
<http://www.seiryo-u.ac.jp>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町西1
TEL076-253-5900(代表)
<http://www.seiryo.ac.jp>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
TEL076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
TEL076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
TEL076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>